

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年12月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200219
法人名	社会福祉法人 伸志会
事業所名	グループホーム 永利
所在地	鹿児島県薩摩川内市永利町2533番地3 (電話) 0996-20-8139
自己評価作成日	令和5年9月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・近隣に提携している病院や、市民病院があり安心して生活ができる環境にある。
- ・自然に囲まれ広い敷地で静かで安全に生活することができる。
- ・同じ敷地内に特養やデイサービスがあり合同でイベントをしたり交流ができる。
- ・毎食職員が手作りしておりバランスのとれた食事を提供している。お刺身がたまにでて皆様喜ばれている。(献立は栄養士が立てている。)
- ・毎月、ご家族にお便りを担当職員が手書きしている。

- ・当事業所は、広い敷地内に特別養護老人ホームに隣接して建てられており、合同の避難訓練や事業外に出た利用者の連携など、日頃から職員間の協力関係が築かれている。また、近隣に系列の協力医療機関があり、月1回の往診や緊急時を含めた24時間の医療連携体制が築かれており、利用者・家族が安心して生活できる環境である。
- ・管理者を中心に話し合い、安全面にも配慮しながら職員全体で利用者に自由に生活してもらえるように目配りと支援に取り組んでいる。クッキングデイや外出デイを計画的に実施し、日々の生活の中での楽しみや外の景色・季節を感じてもらえるように多くの行事を行っており、職員の意見を活かして運動会にも取り組んでいる。
- ・今後、コロナ等の感染状況を見ながら、地域行事への参加や実習生受け入れ等、地域との交流再開に取り組む計画である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	見える場所に理念を掲示し常に確認できるようにしている。ネームの裏にも書いてあり、いつでも確認出来、理念をもとに実践するように努めている。	理念は食堂に掲示する他ネーム裏にも入れており、各自が常に確認して実践に繋げて、職員会議やケア会議時に振り返りを行っている。今回の調査で「自己評価」を各自で行ない、それぞれの振り返りに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ以前は地域の行事に参加したり、事業所の行事に地域の方々の参加を呼びかかっていた。今年からまた行事にも積極的にい参加して行く予定。	コミュニティセンターからの情報で文化祭等に出展し、人が少ない時間に見物している。今後、保育園児やボランティア受け入れは感染状況により、看護学生実習は来年から再開予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進委員会、毎月のご家族へのお便り、面会時など理解や協力が得られるように情報を発信している。事業所からの広報誌などもご家族や地域の方に見ていただき情報をきょう		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事の計画や実施の報告、ケア上の問題点等の相談をしケアに活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を今年度は第2回を除き対面で開催している。事業所の報告と意見交換を実施しており、ヒヤリハットは内容も報告して欲しいとの意見を活かして、今後は資料に内容も記載予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>解決の難しい問題は行政の相談したり、運営推進委員の市の担当者と意見交換を行っている。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議での意見交換やメール及び窓口に出向いての報告・相談で、連携を図っている。市の研修会は、連絡を受けた中から必要に応じて受講し、情報交換も行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関、非常口には鍵をせず、センサーを使用し、身体拘束の具体的な行為を職員の共通認識を持ってケアにあたっている。</p>	<p>指針を法人で作成し、委員会は3ヶ月に1回、勉強会は毎月実施している。今後、研修会は年間計画を立てて実施予定である。スピーチロックや車いすの安全な使用方法等を勉強会で取り上げ、職員の意識を高めるよう取り組んでいる。玄関の施錠はせず外に出ていく利用者は敷地内散歩への同行等で対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が見逃されないように、職員会や、ケア会などで勉強会を行い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修や勉強会で学んだことを生かしながら、ケアプランに沿って支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、施設の取り組みや対応可能な範囲の説明をしている。ご家族の要望も傾聴し施設での生活に理解・納得していただけるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月のお便り、電話や面会時に話す機会を設け、意見・要望を取り入れケアに反映させている。</p>	<p>利用者には日常会話の中で意見等を聞き、食べたい物はッキングデイで提供している。家族には、電話や面会時に要望等を聞いて対応に努めているが、居室面会や外出・外泊についての要望には法人の方針で困難であることを伝え了解を得ている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議やケア会で職員の提案や意見を聞き、個人面談も行っている。</p>	<p>日常的に話しやすい雰囲気づくりに努めており、職員会議で意見を聞く機会を設けている。遠足に代わる行事として運動会の提案があり、庭での開催に全員で取り組むことができた。年2回の個別面談のほか、個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>役割分担を行い助け合いながら、レベルアップできるように必要に応じて業改善を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加、勉強会を行い職員のレベルにあった指導・教育を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>リモート研修に参加したり、法人内でも情報交換、交流を行いケアの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>情報をもとに積極的に関わり、話を傾聴しながら不安を取り除き、安心して生活して頂ける関係性を保てるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の不安や要望は傾聴し寄り添い、信頼関係を作っていくように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>プラン作成時には、本人様・ご家族様の要望を取り入れ、優先順位を決めて、サービスの提供を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様一人一人が出来ることを手伝っていただいたり、漬け物等、一緒に作る際コミュニケーションをとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にも積極的に関わりを持ち、毎月のお便りや、電話、LINEなどでも連絡をとり、状況・問題点の共有が出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出デイなど過ごされてきた場所へドライブにでかけたり、墓参りなども希望があれば行っています。	家族との面会交流を支援し、事業所からの近況報告等により関係が途切れないように努めている。馴染みの場所へのドライブのほか、感染状況を見ながら、墓参りや自宅訪問などの個別支援にも取り組む計画である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性や相性など考慮したうえで良好な関係性を築けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ移られる際は、情報提供を行い、その後もご家族からの相談も受け付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	今までの生活の話を傾聴行い、本人様にどのように生活していきたいか確認をとる。難しい場合は、表情・言動等から推測したり出来る限り希望に添えるように努めている。	お茶の時間等に職員から話しかけて本人の思いを引き出すようにしている。困難な場合は、家族の情報を参考に本人の表情等から思いをくみ取るように努め支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族から情報収集を行っている。ケアマネジャーからも情報提供を受けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントで得た情報をもとに計画し、個人録なども活用しながら生活の中で能力等の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族や本人様の意向を考慮してケア会や職員会などで話し合い問題点やモニタリングを行い共有し計画に反映させている。	電話や面会時に家族の要望等を聞き、ケア会議等で出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い3ヶ月毎にまとめている。介護計画の見直しを6ヶ月毎及び状況変化時に実施し、現状に即した計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートや連絡帳、個人録に日々の様子を記録し共有している。またケア会などで話し合い状態に合わせて介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々人の状況に合わせてご家族と話し合いをしながら支援・サービスを行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ期間は交流がなかったが、文化祭へ作品を出したり、ドライブに出かけたり、日々の生活の中に楽しみをもっただけのように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Drの往診が月に一回あり、情報の提供・連携を取り適切な医療が受けれるように努めている。またその都度電話で相談を行っている。	契約時に系列の医療機関がかかりつけ医となることの詳細を得ており、月1回の往診及び必要時の受診や往診、緊急時を含めた24時間の医療連携で適切な医療が受けられるよう支援している。職員が他科受診同行をした場合は家族に状況報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在看護師は勤務していないが、隣接する特養の看護師や病院の看護師に相談しアドバイスを受けやすい環境を作れるように努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>本人様やご家族の希望を聞きながら速やかに情報提供を行い、連携をとっている。また気になることなどすぐに連絡がとれるような関係性作りに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>緊急時の対応や終末期等の対応などご家族と話し合いを行い、必要なら医師も交えて今後の対応をご家族・病院等共有してと取り組んでいます。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書ももらっている。利用者の状況により特別養護老人ホーム申請について説明している。状況変化時に医師の判断を家族に説明し、家族の意向を確認しており、意向に沿って事業所でできる支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時に対応がすぐ出来るように施設内研修や、勉強会を行っている。またマニュアルを作成し確認をいつでも出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>特養と合同で年に3～4回定期的に防災訓練を昼・夜想定で行っています。またグループホームは通報訓練も行っている。グループLINE等を活用して緊急連絡など、災害時に活用出来るようにしています。</p>	<p>特別養護老人ホームと合同で、年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、消防署の立ち合いを2回受けている。自主訓練で年2回昼想定避難訓練と毎月1回の通報訓練を行っている。非常用の備蓄は、1週間分の水・レトルト食品・ごはんなどの食料及びカセットコンロを用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活での関わり方についてはケア会議・ミーティング時に話し合い、プライドや誇り、プライバシーを損ねない対応について考える機会を設け、職員のケアを見直す機会としている。	誇りやプライバシーを損ねない対応を検討しており、さん付けでの呼びかけや入室時のノック、羞恥心に配慮した排泄介助時の声掛け等に努めている。申し送りはフロアで内容がわからないように行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話の中で意向を聞き出し、自己決定できるようにしている。または表情から推測しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	人員不足もありなかなか個人のペースに合わせることも大変だが、出来るだけ本人様に合わせて支援できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご自分で選んでいただいているが、迷われたり、出来ない方には一緒に話をしながら支援行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月2回クッキングデイを実施しており、食べたいものなど聞きながら献立を立てています。食事の前後に出来る方に台拭きの協力を頂いています。	献立は栄養士が作成し、個々に応じた食事形態で提供している。保存食づくりやテーブルふきを利用者も一緒に行っている。季節の行事食や誕生会のケーキ、クッキングデイ、庭でのお茶会等を楽しんでもらえるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士に献立を作っていただき、利用者様に合わせた変更が必要な場合は栄養士に相談を行っている。水分摂取・排泄チェックを行い栄養不足や水分不足にならないように支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後口腔ケアを行っている。必要に応じて歯科の往診を頼んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを活用して排泄パターンを把握してトイレ案内を行っています。	個々の排泄パターンを参考に声掛けし、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。オムツからリハビリパンツ使用に改善した例がある。排泄用品は本人に適したものを経済面も考慮して検討している。身体状況等により、夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、便秘の方にはマッサージや体操を行う。また水分量にも気を付けている。排便困難な時は主治医の指示をもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	声掛け行い希望を聞いたり、入浴の準備を職員と一緒にやる。また入浴時は1対1での会話もゆっくりできるため楽しい時間になるように努めています。	最低週2回午前中の中入浴を支援し、ゆず湯も楽しんでいる。身体状況や体調により2人介助での対応やシャワー浴・足浴を行っている。嫌がる場合は無理強いないで、人や時間を変える等の工夫をして支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人のタイミングや、体調を見ながら、個々に合わせて休んでいただいている。また夜間も睡眠パターンに応じて休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった場合は申し送り等で記録し職員全員で把握を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干しや、洗濯物たたみ等個々の出来ることを気持ちよく参加できるように努めています。レクリエーション等も個別に対応行う事で個々に合わせた気分転換も図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>毎月外出デイを計画・実施しています。また可能な場合はご家族に協力頂き気分転換を図っています。</p>	<p>天候や希望で敷地内の散歩を日常的に行っている。毎月外出デイを設け、計画的に季節の花見ドライブ等に出かけている。庭でしゃぼん玉や運動会をしたり、ウッドデッキや玄関先のベンチで外気浴・日光浴をする等、できるだけ閉じこもらないように働きかけ支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在はお金の所持は行っていない為、本人の必要な物の購入については家族へ連絡して不自由のないように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があった際にはお電話を掛けたり、手紙を書いて頂いたりしています。また年賀状は毎年利用者様が出したい方に出せるように支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使われていた家具を持って来ていただき、心地の良い環境づくりに努めています。また廊下や食堂ホールなどは季節感のある飾りを行っている。</p>	<p>リビングと食堂は作品等で季節の飾りつけをして、空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に整え、換気は窓を開けて行っている。対面キッチン等から職員が見守って利用者がリビングのソファや食堂の自席等、好みの場所でくつろげるよう、いる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同スペースが2か所あり、独りで脳トレや塗り絵を楽しまれたり、数人でお話をされたり、テレビを見られたり自由にできる環境づくりに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用されていた家具などを持ち込んでいただき、本人様が居心地よく過ごして頂けるように努めている。</p>	<p>居室にはベッドとエアコンが備えてあり、本人は使い慣れた寝具やタンス・テレビ・ハンガーラック・仏壇等を持ち込んだり、写真やぬいぐるみ・鏡・時計等の身の回りの物を身近に置いて安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室が分かりやすいように目印をつけたり飾りを行っている。またADLの低下を防ぐため、自力で安全に活動出来るような環境整備に努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない